

八代市教育委員会生涯学習課

# 八代市公民館講座

## かわら版 No.27

### かわら版もくじ

宇宙の謎を  
解こう

猫と共に生きる  
TNR 活動に  
ついて

ミモザリース  
ワークショップ  
受講者作品  
展示会

### かわら版バックナンバー

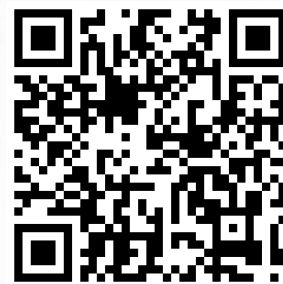
過去の「かわら版」はこちらから



⇒今までに発行したかわら版が出ます  
見たい記事をお選びください

### 公民館講座 Web 版

講座の動画はこちらから



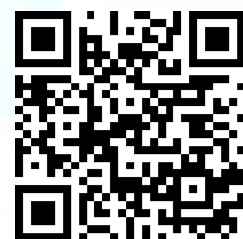
⇒YouTube に飛びます。データが大きい  
ため、Wi-Fi での視聴をお勧めします

### 受講生募集中!

各種講座はこちらから



どんな講座が受けたいか、  
講座企画についての  
アンケートを実施して  
います。ご回答お待ち  
しています!



発行・編集：  
八代市教育委員会 生涯学習課  
問い合わせ：0965-30-1110  
syogai@city.yatsushiro.lg.jp



# 『宇宙の謎を解こう』

宇宙は何でできているのか？宇宙はどのようにして始まったのか？そしていつ終わるのか？宇宙の謎は尽きることがありません。その謎に少しでも迫るため、令和7年9月2日（火）～16日（火）まで、さかもと八竜天文台の浅田晃司台長を迎えて、「宇宙の謎を解こう！」という3回シリーズの楽しい公民館講座が行われました。

## ——私たちは「星の欠片」からできている——

宇宙が始まったとき、世界には軽い元素（水素やヘリウム）しかありませんでした。では、私たちの体を作る複雑な成分はどこから来たのでしょうか？その答えは、かつて宇宙で輝き、一生を終えた「先代の星たち」にあります。星はその中心で新しい成分を作り出し、最期に宇宙へまき散らしました。その「星の欠片」が集まって、地球が、そして私たちが生まれたのです。

### 星が「重い元素を合成」を作るプロセス

#### 恒星による元素の合成

初期の宇宙で誕生した恒星（自ら光る星）は、その中心部で核融合反応を繰り返し、より重い元素を次々と合成していきました。

#### 星の終焉と元素の拡散

星はやがて寿命を迎え、爆発などを通じて、それまで蓄えてきた重い元素を宇宙空間へと勢いよくまき散らしました。

#### 太陽系、そして私たちの誕生

宇宙に漂った「先代の星」の残骸（材料）が長い年月をかけて再び集まり、太陽系や地球、そして私たち人類が誕生しました。

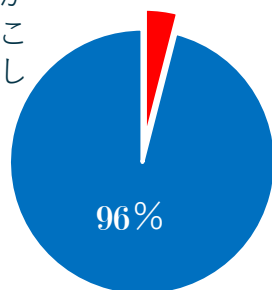
### 宇宙の96%はまだ正体不明？

天体観測やシミュレーション技術がどれだけ進化しても、人類が解明できている宇宙の物質は、わずか約4%に過ぎません。

残りの約96%は「ダークマター」や「ダークエネルギー」と呼ばれる、正体不明の存在です。

これほど科学が進んだ現代でも、宇宙はまだ謎に満ちています。

もしかしたら宇宙人が発見される未来もそこまで遠くないのかもしれませんが。



### 皆既月食がありました！

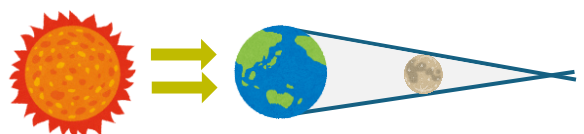
講座期間中の9月8日に日本各地で観測された「皆既月食」。

月が地球の影に完全に隠れ、幻想的な赤銅色（しゃくどういろ）に染まる姿は、多くの人を魅了しました。

138億年膨張を続ける広大な宇宙のなかで、太陽・地球・月が一直線に並ぶ奇跡。

メイン特集で触れた「星の欠片」である私たちが、同じ空を見上げ、宇宙の営みを肌で感じる貴重なひとときとなりました。

ちなみに、次の皆既月食は3年後の2029年の1月1日に見れるそうです。



# 猫と共に生きる



～TNR活動について～



2月22日の「猫の日」に行った「猫と共に生きる講座」で学んだ一部をご紹介します

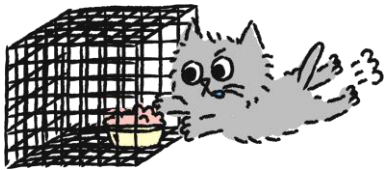
## TNR活動とは?



「TNR活動」とは、飼い主のいない猫をこれ以上増やさないための活動です。「捕まえて手術するのはかわいそう」ではなく、「不幸な命を増やさない」ための未来に向けた活動です。

### T: Trap (捕獲)

外で暮らす飼い主のいない猫を捕獲する



### N: Neuter (不妊去勢)

これ以上増えないように不妊手術をする



### R: Return (戻す)

慣れた場所に帰す



## 「元に戻す」のは、新しい猫を増やさないため

「外に戻したら、また増えるのでは？」そう思われるかもしれませんが、実はこれには大切な理由があります。



### 1. 新しい猫の流入を防ぐ「ストッパー」

猫がいなくなると、その空いた場所に「手術をしていない別の猫」が入り込み、また繁殖が始まってしまいます。

### 2. 「なわばり」を維持して穏やかに

手術済みの猫がその場所で暮らし続けることで、新しい猫が入り込むのを防ぐ「防波堤」のような役割を果たしてくれます。



### 3. 数年かけて、ゆっくり減らす

無理に排除するのではなく「今いる代で終わり」として見守ること。これが、地域の猫トラブルを減らす一番の近道です。



## 知っていますか?「さくらねこ」のこと

手術を終えた猫たちは、その耳の形から「さくらねこ」と呼ばれています。

### Q どうして耳を切るの?

#### A 猫に「二度と同じ手術」をさせないためです。

もし目印がなければ、別のボランティアが「まだ手術をしていない猫」だと思って、また捕獲してしまうかもしれません。そうなれば、手術台の上で再びお腹を開くことになり、猫の体に大きな負担を強いてしまいます。

### Q 痛くないの?

#### A 不妊手術の麻酔中に行うため痛みはありません。

出血もほとんどなく、すぐに治ります。



©公益財団法人どうぶつ基金



さくら耳は、地域みんなでこの子を守っていくという「約束のしるし」です。街で見かけたら、どうか温かく見守ってあげてください。



## プチコラム 『国際女性デー』を知っていますか？

女性の地位向上、女性差別の払拭等のジェンダー平等を目指し、国連により毎年3月8日に制定されました。この日は別名、『ミモザの日』とも呼ばれ、ミモザの花がシンボルとして親しまれています。

黄色いふわふわとした小花を枝いっぱい咲かせるミモザは、優雅で華奢な印象を与えますが、実は厳しい環境にも耐えるたくましさを持つ花でもあります。